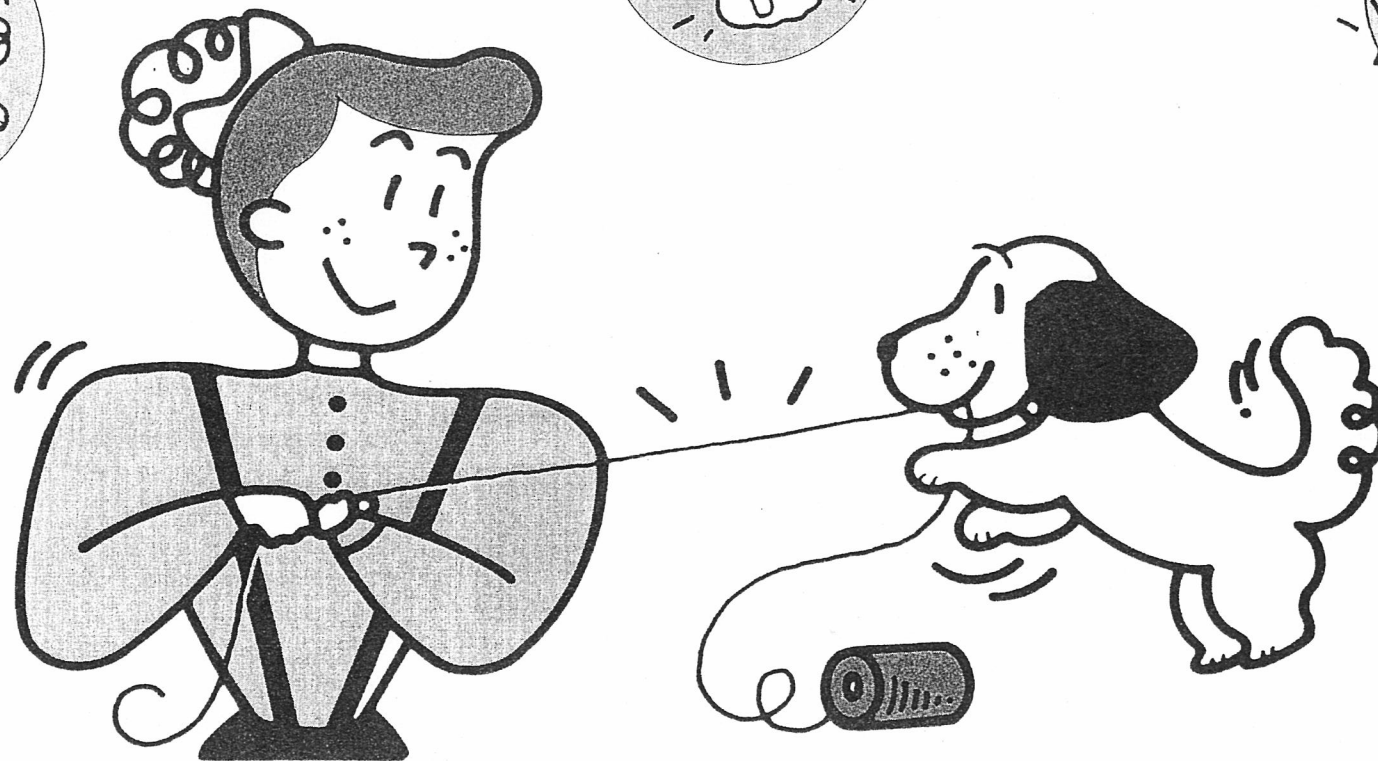
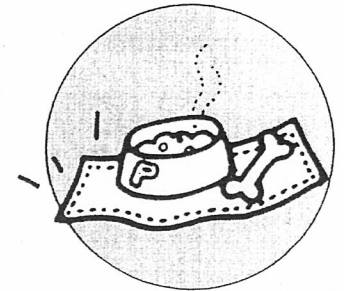


電子ミシン 取扱説明書

ZZ3-B543

brother

- ご使用になる前に必ず取扱説明書をお読みになり正しくお使いください。
- 本書は、なくさないように注意し、いつでも手にとって見ることができるようになっています。



安全にご使用いただくために

このミシンを安全にご使用していただくために、以下のことから守ってください。

⚠ 警告

- 一般家庭用電源100Vでご使用ください。
 - 以下のようなときは電源を切り、電源プラグを抜いてください。
 - ミシンのそばを離れるとき
 - ミシンを使用した後
 - 運転中に停電したとき
- ※過熱や火災の原因となります。

⚠ 注意

火災・感電の原因となります。

- お客様ご自身での分解、改造はしないでください。
- 電源コードの接続には、延長コードや分岐コンセントを使用しないでください。
- 電源プラグをコンセントから抜くときは、電源スイッチを切ってからプラグを持って抜いてください。コードを引っ張って抜かないでください。
- ミシンの換気用の穴をふさがないでください。
- ミシンの換気用の穴に糸くずやほこりがたまるないようにしてください。
- ミシンの内部に異物をいれたり、ドライバーなどを差し込まないでください。
- ミシンに水などをこぼさないでください。
- スプレー製品をご使用の部屋、または酸素を扱っている場所ではご使用にならないでください。
- 屋外またはストーブやアイロンのそばでは使用しないでください。ミシンの使用温度は0℃~40℃です。
- 以下の場合はミシンのご使用をすみやかにおやめになり、お近くの販売店またはブラザーのサービスセンターにて修理または調整をお受けください。
 - 電源コードまたは電源プラグが破損したとき
 - 正常に作動しないとき
 - 落下などにより破損したとき
 - ミシンが濡れたとき

傷害の原因となります。

- ミシンの操作中は、針から目を離さないようにし、針、プーリー、天びんなどすべての動いている部品に手を近づけないでください。
- お子様の玩具としてご使用にならないでください。お子様がご使用になるときや、お子様の近くでご使用されるときは、安全に対し注意を払ってください。
- 針の周辺で以下のことをするときは、必ず電源を切ってください。
 - 針に糸を通すとき
 - 下糸をセットするとき
 - 針を交換するとき
 - 押えを交換するとき
- 取扱説明書に記載のある整備を行うときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ミシンには正規の部品をご使用ください。
- 曲がった針はご使用にならないでください。
- 縫製中に布をおりに引っ張ったり押ししたりしないでください。
- ミシンを移動するときは、取っ手を持って行ってください。
- ランプが切れたときの交換は、ガラス部分が熱くなくなるまで待ってから行ってください。

このミシンは日本国内向け家庭用です。
FOR USE IN JAPAN ONLY.

■以下のマシンをご使用の場合、下糸のセット方法および下糸の引き出し方は巻末の『下糸のセット』『下糸の引き出し方』をご覧ください。

・デュード

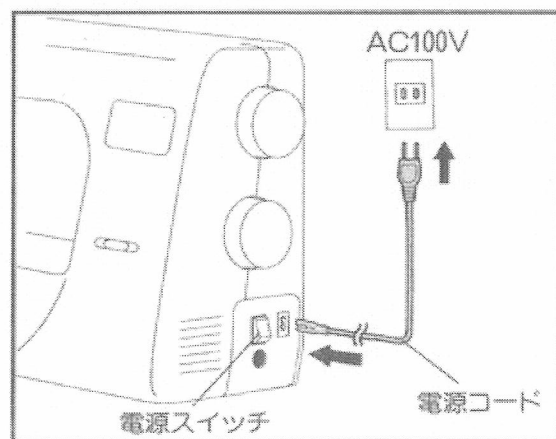
■以下のマシンでは、フットコントローラーをご使用いただけません。
(コントローラージャックがありません)

・セレクト

・デュード

■以下のマシンは、コードリール式ではありません。
(差し込み式の電源コードを使用します)

・デュード



もくじ



■糸と針の選択早見表	1
■ぬい方早見表	1
■付属品	1
■各部の名称	2

A

ぬう前の知識

■模様選択ダイヤル■プーリー	3
■送り歯カバー■電源コード	3
■上糸調子ダイヤル■押えあげレバー	4
■スピードコントロールレバー■ぬい目の長さ調節ダイヤル	4
■返しぬいレバー■スタート/ストップスイッチ■フリーアームにするには	4

B

糸の通し方

■ボビンの下糸巻き	5
■下糸のセット	6
■上糸のかけ方	7
■糸通し装置の使い方	7
■手動で下糸を引き出す場合	8

C

ぬってみましょう

■基本操作	9
■糸調子	9
■押えの付け替え方	10
■片押えの使い方	10
■まつりぬい押えの使い方■裁ち目かがり押えの使い方	11
■ボタン穴かがり押えの使い方	12・13

D

ミシンを大切に

■針の交換	14
■ランプの交換	14
■お手入れ	15
■トラブルチェック	16



糸と針の選択早見表

布地の種類	普通地			薄地			厚地			のびる布地		ほつれやすい布地			ステッチ糸の場合	
	ブロード	タフタ	ギャバジン	ローン	シヨセツト	ポーラ	デニム	コートクロー	ツイード	アムコト	ジャージ	二用	カタン糸	合繊糸	絹糸	合繊糸
糸種類	カタン糸	合繊糸	絹糸	カタン糸	合繊糸	絹糸	カタン糸	合繊糸	絹糸	二用	アムコト	カタン糸	合繊糸	絹糸	合繊糸	絹糸
糸太さ	60~80	60~80	50~80	60~80	60~80	50~80	40~50	50	50			50~80	50~80	50~80	30	30
針太さ	11~14			9~11			14~16			ゴールド針 11~14		9~14			16~18	

ぬい方早見表

模様の種類	直線		ジグザグ			裁ち目かがり	ジグザグ三重ぬい	三重ぬい	まつりぬい	裁ち目かがり	直線	ボタン穴かがり		
	1	2	3	4	5	7	9	10	6	8	2	a	b	
模様番号	1	2	3	4	5	7	9	10	6	8	2	a	b	
選択模様	○	○	〰	〰	〰	〰	〰	〰	〰	〰	○	□	□	
押え記号						J				L	G	I	A	
主な用途	薄地・ステッチ	普通地・厚地	その他 裁ち目かがり アップリケ パッチワーク			(J)の布地 裁ち目かがり	飾りぬい その他	地ぬい・飾りぬい (ぬい目をしよ)ふにしたとき	まつりぬい	裁ち目かがり	ピンタック おとしミシン ファスナー付け	その他	ボタン穴かがり	
ぬい目の長さ調節ダイヤル	★		★			★			★		★		★	

★…調節することができます。

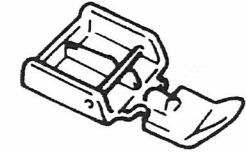
付属品

付属品は、必ず本機専用付属品をご使用ください。

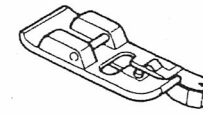
・補助テーブル内に付属品が収納されています。



ジグザグ押え



片押え



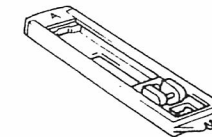
裁ち目かがり押え



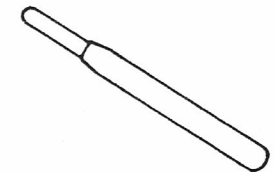
まつりぬい押え



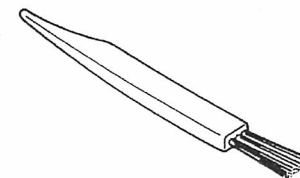
送り歯カバー



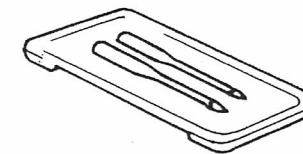
ボタン穴かがり押え



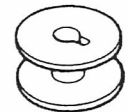
リップバー



ミシンブラシ



ミシン針



ボビン

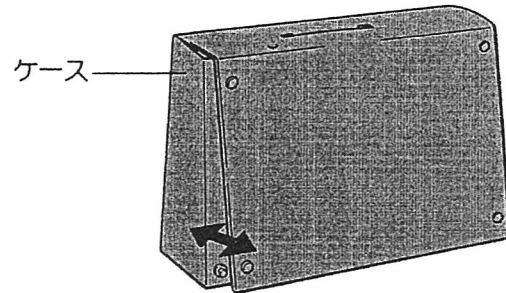
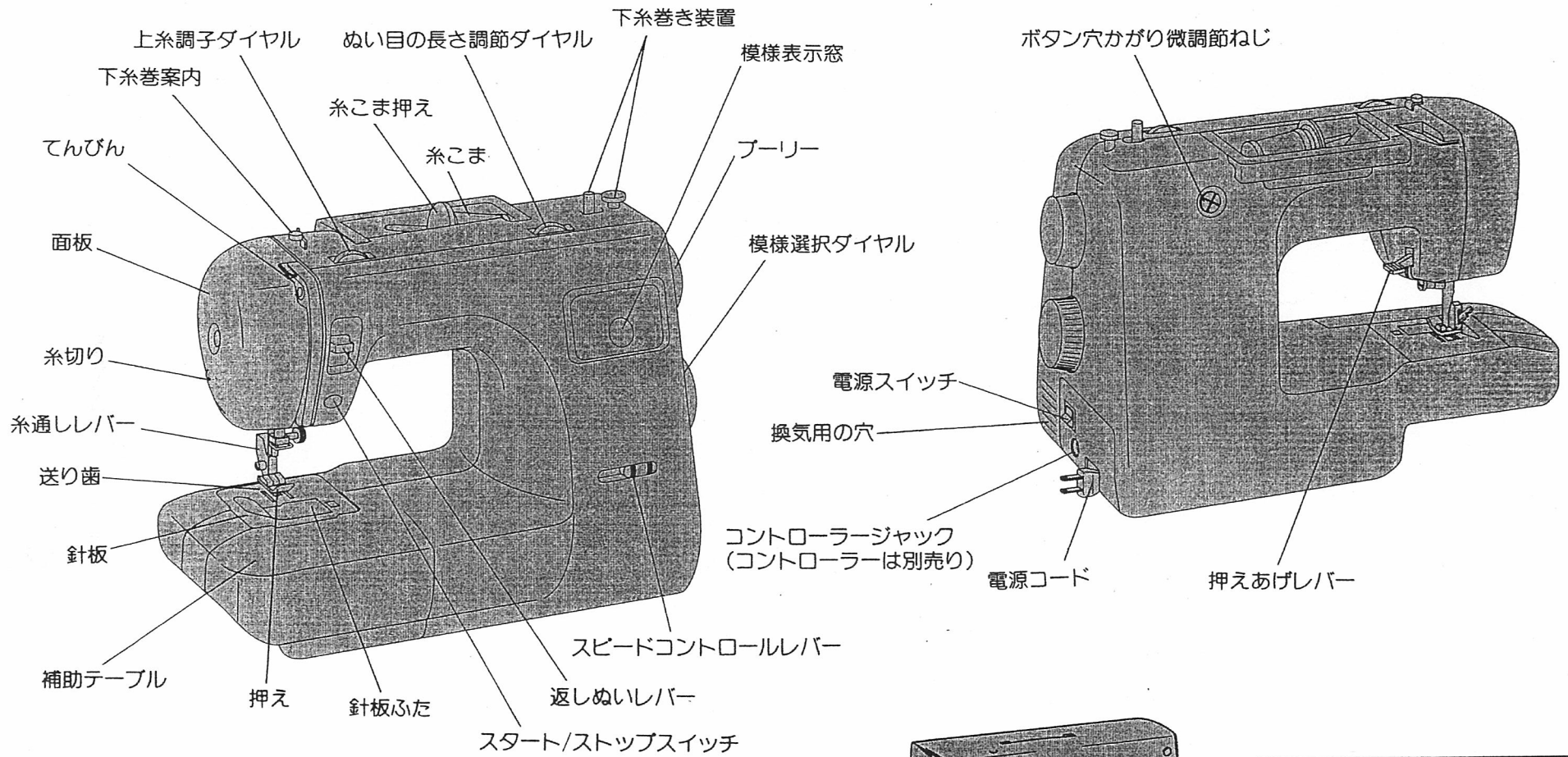


糸こま押え(大)

※糸こま押え(小)は、ミシンの糸たて棒についています。糸こまの大きさに合わせてお使いください。

ボビンは、必ず専用ボビンをご使用ください。(補給コード:X80309001)

各部の名称



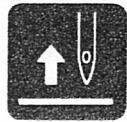
⚠警告

- 運転中の停電が発生した場合
- 電源プラグを抜いて下さい。
- 再運転される場合は、運転の手順にもとづき正しく行ってください。

A

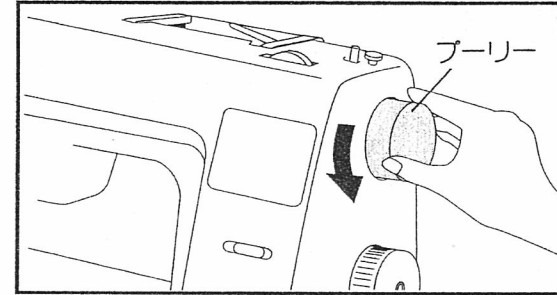
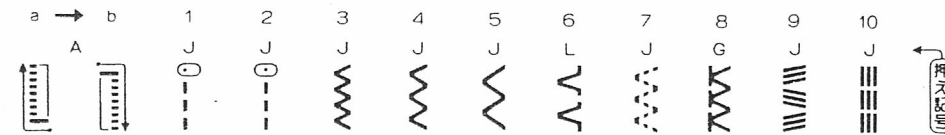
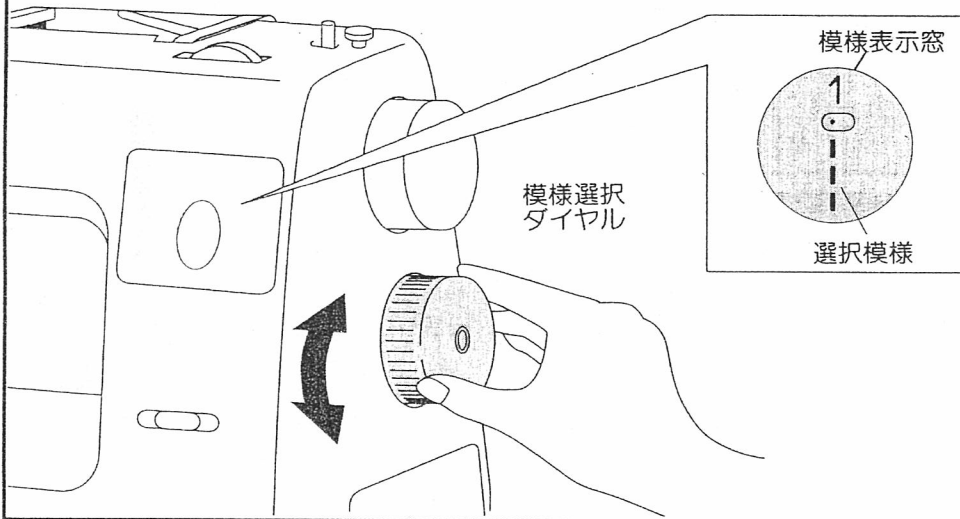
ぬう前の知識

模様選択ダイヤル



模様選択ダイヤルを回すと、選択した模様が表示窓に表示されます。

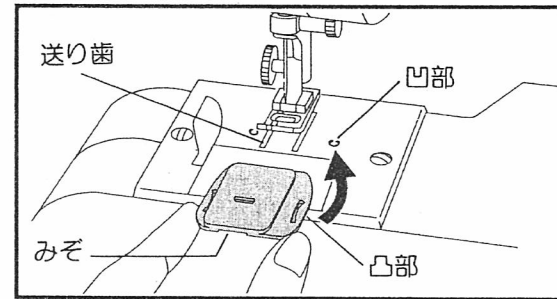
▲注意：模様選択ダイヤルは、必ず針が上がっていることを確認してから回ってください。針が曲ったり、折れたりする場合があります。



プーリー

プーリーを回すと、針が上下します。

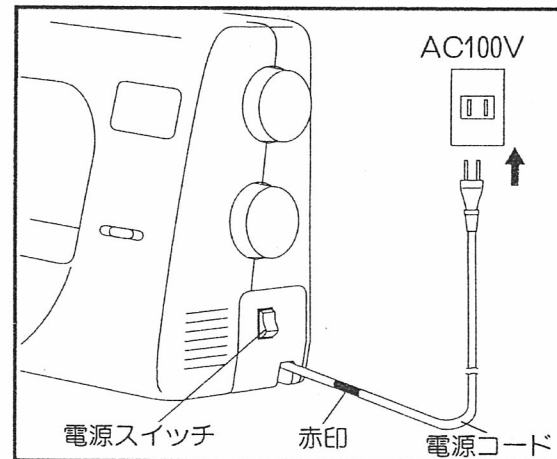
- プーリーは、必ず手前側に回してください。
- 模様選択する場合は、必ず針を上になしてください。



送り歯カバー

凹部と凸部を合わせます。取りはずすときは、みぞにつめをあて、はね上げてください。

※ボタン付けなどのときに使ってください。



電源コード

▲警告：

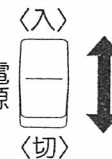
- 一般家庭用電源100Vでご使用ください。
- ミシンを使用しないときは、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

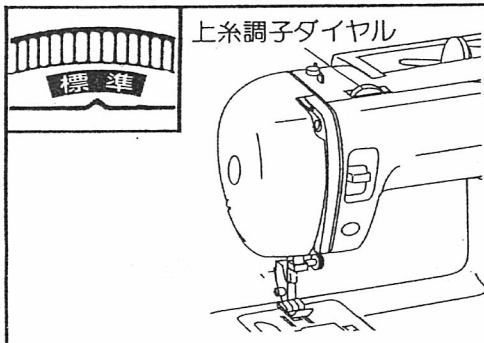
▲注意：

- 電源プラグは、しっかりと差し込んでください。
- 電源コードの赤印以上は引き出さないでください。
- 電源コードをしまうときは、少し(1cm~5cm)引っ張ってから離してください。

電源スイッチ

- 押え・針・ランプの交換時は、電源スイッチを切ってください。





上糸調子ダイヤル

上糸調子ダイヤル

糸調子ダイヤルは「標準」の位置が目安となりますが、正しい糸調子を得るために、実際にお使いになる生地
の端切れで試し縫いをして、糸調子を調節して下さい。

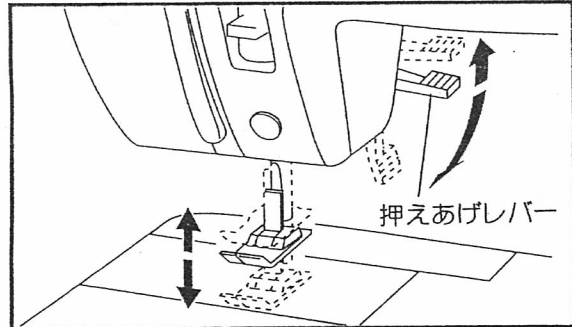
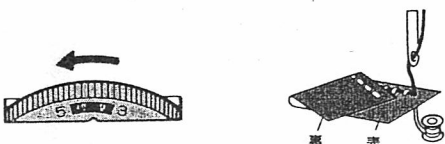
■上糸を強くしたい場合

上糸調子ダイヤルを右に回します。上糸と下糸の重なりが上(表)にできます。



■上糸を弱くしたい場合

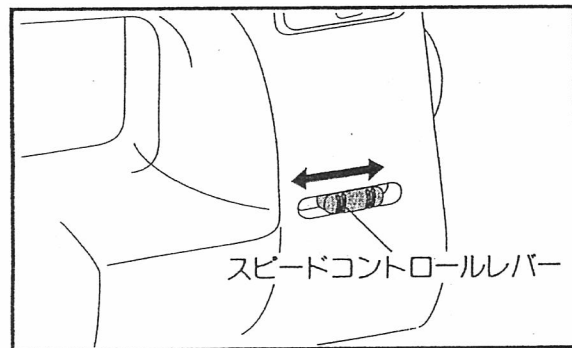
上糸調子ダイヤルを左に回します。上糸と下糸の重なりが下(裏)にできます。



押えあげレバー

押えあげレバー

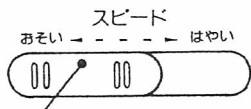
レバーを下げると押えが下がり、布地を押えます。厚地の重ねぬいなど布地を入れにくいときは、レバーをさらに押し上げて入れます。



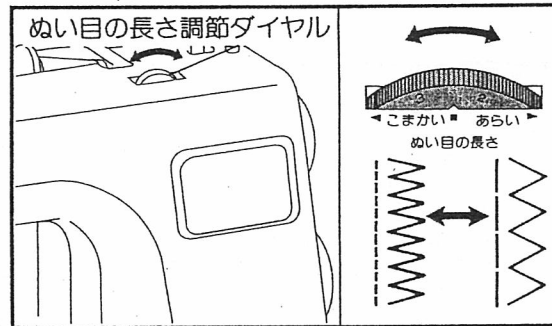
スピードコントロールレバー

スピードコントロールバー

※初心者の方はミシンになれるまで「おそい」でお使いください。



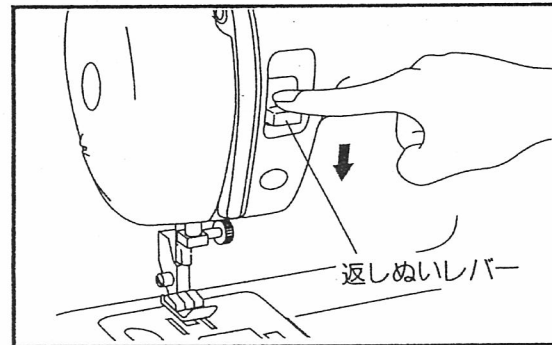
合わせマーク



ぬい目の長さ調節ダイヤル

1針1針のぬい目の長さを変化させることができます。

- 選んだ模様によっては調節できません。(1ページぬい方早見表参照)

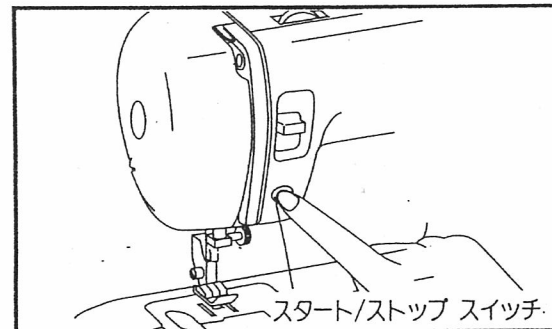


返しぬいレバー

返しぬいレバー

レバーを下げている間は返しぬいを低速で行います。

- 下糸巻き軸が、下糸巻きの状態になっていると、ミシンは動きません。

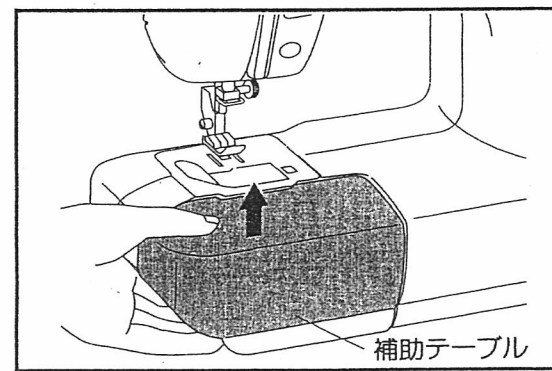


スタート/ストップスイッチ

スタート/ストップスイッチ

スイッチを押すとスタートし、もう一度押すとストップします。

- スイッチを押している間は、低速でぬいます。
- ミシンを停止させると、針は上で止まります。



補助テーブル

フリーアームにするには

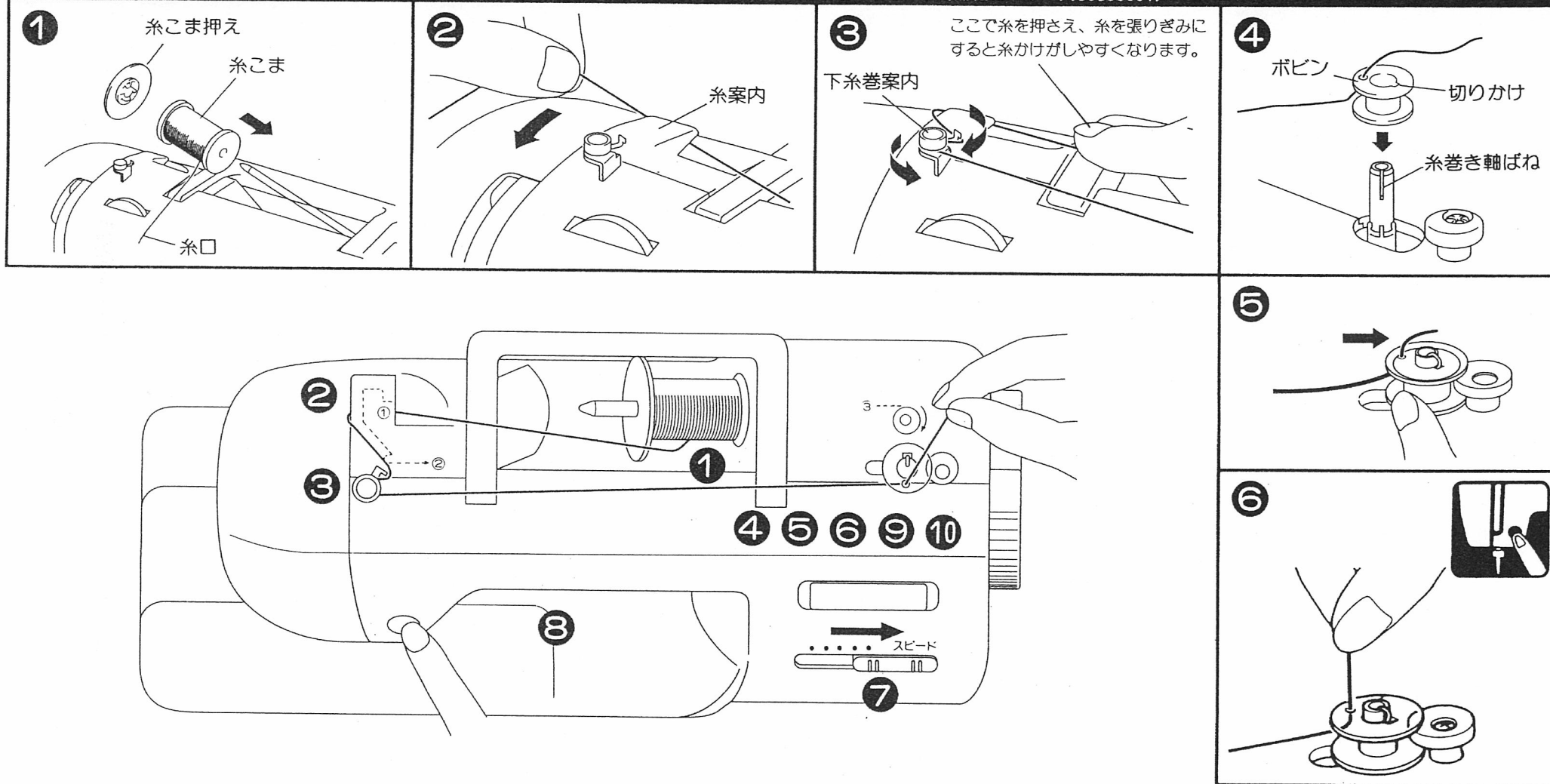
筒物ぬいのときは、補助テーブルを上へ上げ、取り外しますと、フリーアームになります。

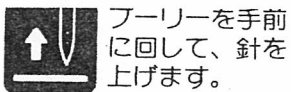
B

糸の通し方

■ボビンの下糸巻き

ボビンは、専用ボビンをご使用ください。(補給コード X80309001)





フーリーを手前に回して、針を上げます。



押えを上げます。



フーリーを手前に回します。



スタート/ストップスイッチを押します。



押えを下げます。

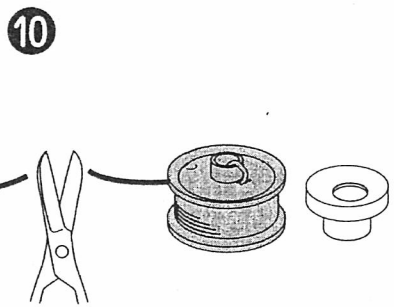
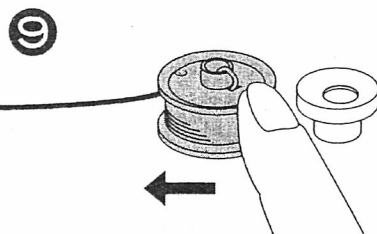
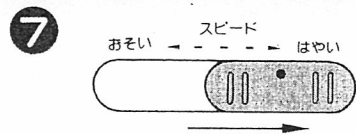


電源スイッチを切ります。

4 ボビンの穴に糸を通し、切りかけと糸巻き軸ばねを合わせてしっかりはめます。

5 糸端を持ち、ボビンを右へスライドさせます。

6 糸端を持ってスタート/ストップスイッチを押し少し巻いたら、ミシンをいったん止めて糸端を切ります。



7 スピードコントロールレバーを(はやい)に合わせます。

8 スタート/ストップスイッチを押して、糸巻きをスタートします。巻き終わるとボビンの回転は止まります。巻き終わったらスタート/ストップスイッチを押して止めます。

9 ボビンを左へもどします。

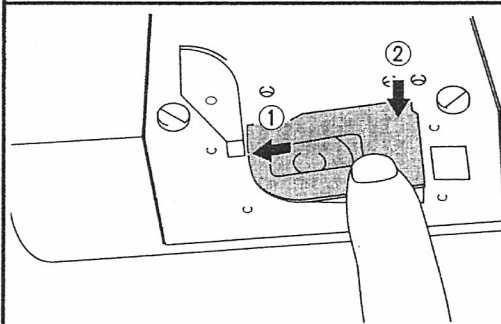
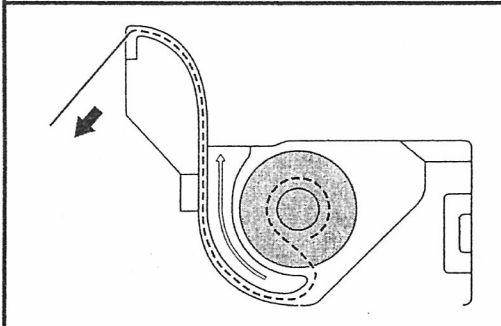
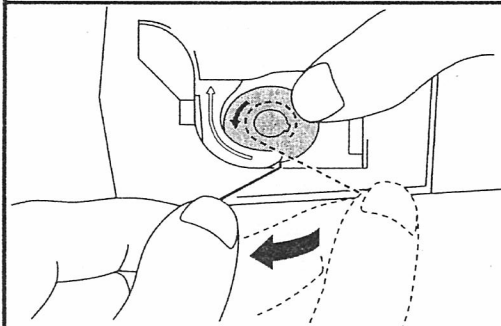
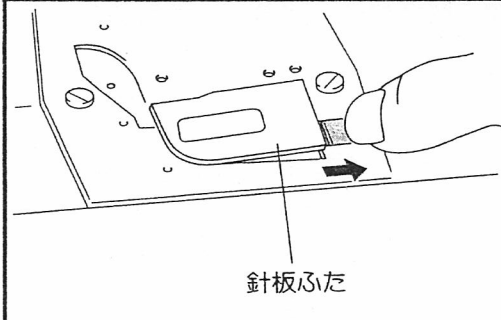
10 糸端を切り、ボビンはずします。

注

下糸巻きをしたあと、次にミシンを運転するか、またはフーリーを手回しするとき、初めにクラッチのつながる音が発生しますが、トラブルではありませんのでご了承下さい。

下糸のセット

※下糸を引き出す必要はありません。



△注意：下糸のセットをする時は必ず電源スイッチを切ってください。



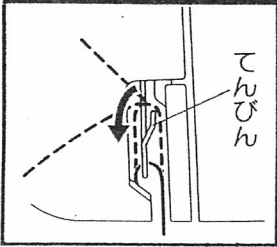
1 針板ふたをはずします。

2 矢印の向きから糸が出るようにボビンをセットします。
※専用ボビンをお使いください。

3 糸をみぞにそって通し、手前に引き糸を切りま

4 針板ふたをセットします。
※下糸を引き上げなくてもそのままぬい出せます。

■上糸のかけ方



△注意：下糸のセットをする時は必ず電源スイッチを切って下さい。

■糸こまを糸が手前から出るようにセットします。

糸こま押え

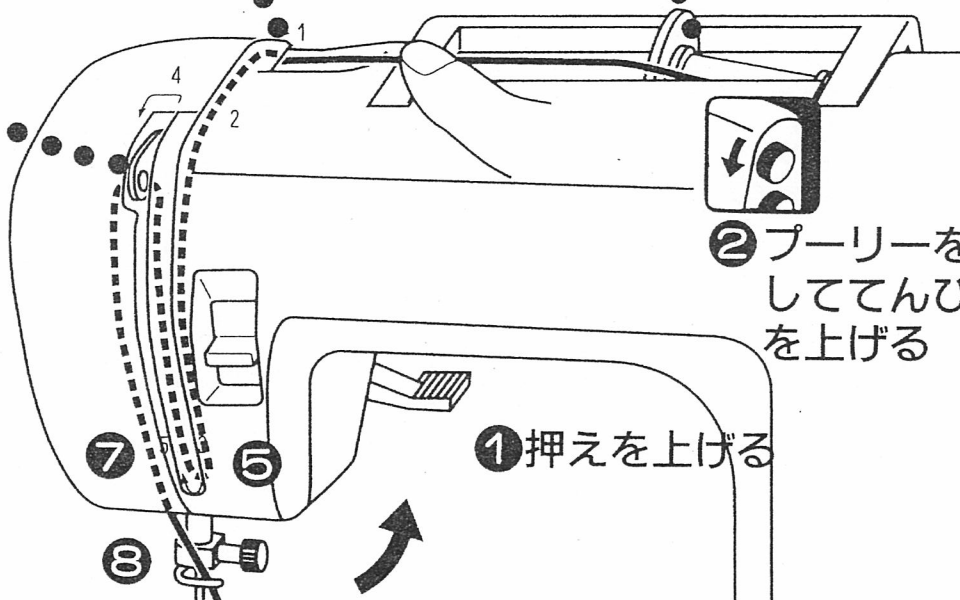
※糸こま押えは、奥までいっぱい差し込んでください。糸こま押え(大)と(小)は、糸こまの大きさに合わせてお使いください。

⑥ てんびんにかける

④ 糸案内にかける

ここで糸を押さえ、糸を張りぎみにすると糸かけがしやすくなります。

③ 糸こまをセット

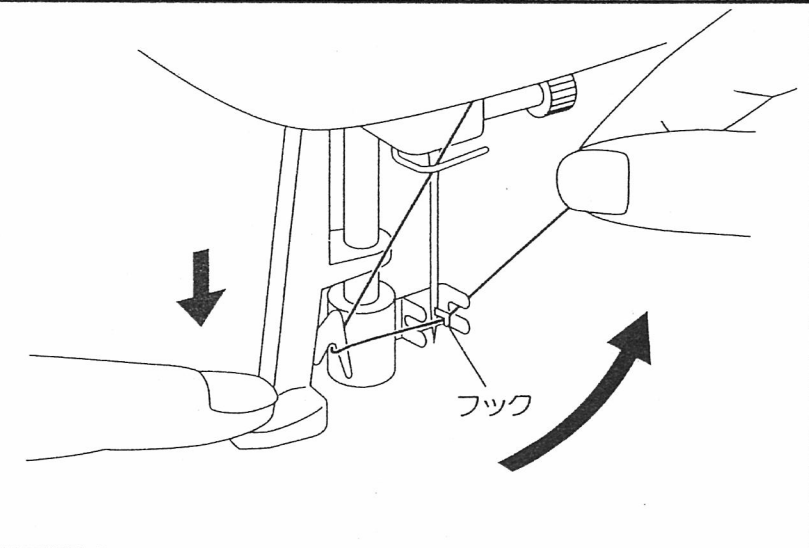
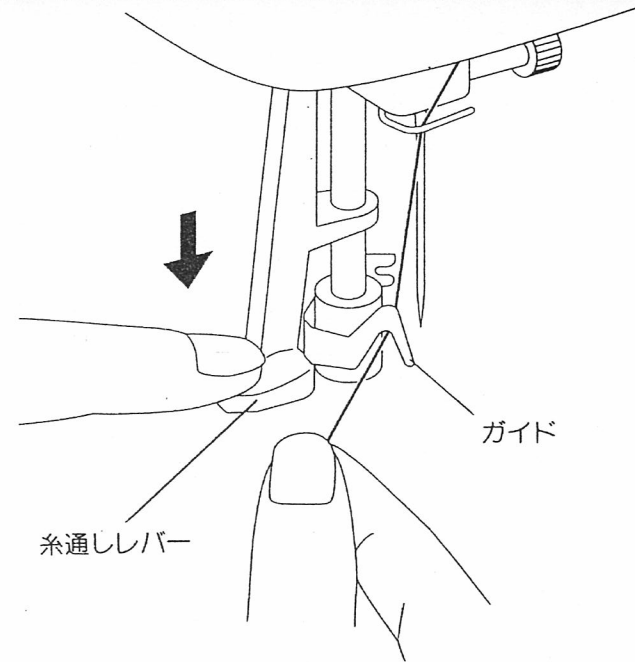


② プーリーを回しててんびんを上げる

① 押えを上げる

⑨ 針に通す
(糸通し装置を使うと便利です)

糸通し装置の使い方



注

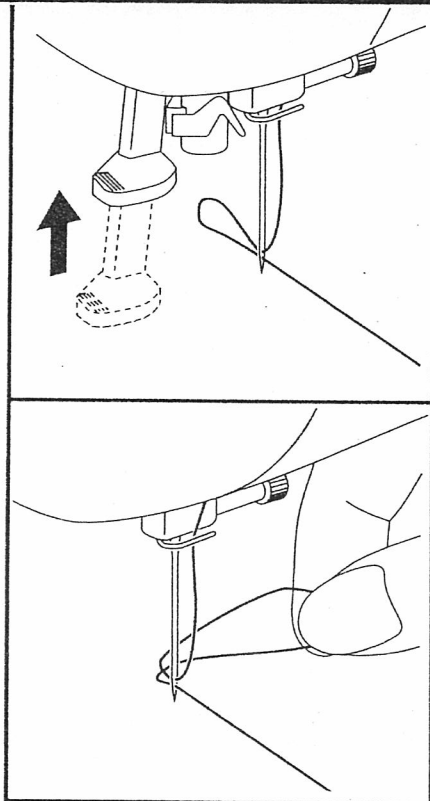
①をしないと、糸がらみの原因になります。
押えが下がっていると⑨のミソ内部の皿が閉じてしまい、糸が正しく入りません。

1 プーリーを手前に回して針を上げ、押えあげレバーを下げます。

2 糸通しレバーを下げながら、糸をガイドにかけます。

3 糸通しレバーをさらに下まで下げ、糸をフックにかけます。

- 糸を手前に引き、フックにかかっているか確認してください。



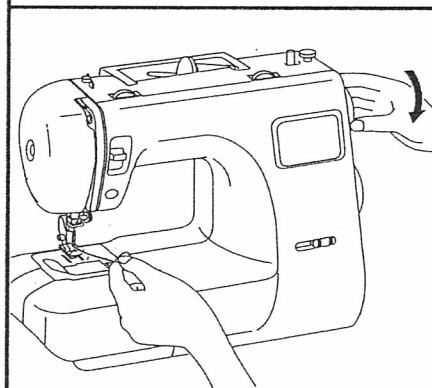
4 糸をかるく持ちながら糸通しレバーを上げます。

5 上糸をうしろへ引き出します。

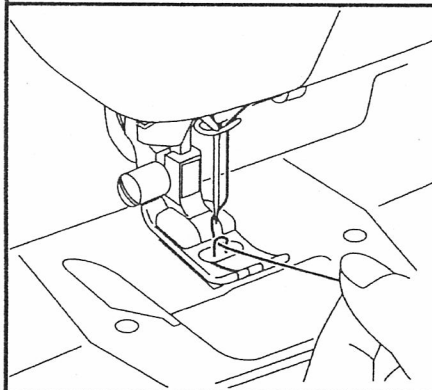
- 糸通し装置は針11~14番の範囲でご使用ください。なお、針と糸の適正な組み合わせは早見表(P1)を参照してください。また、ナイロン透明糸は上記に関係なく、針14~16番の範囲内でご使用ください。

手動で下糸を引き出す場合

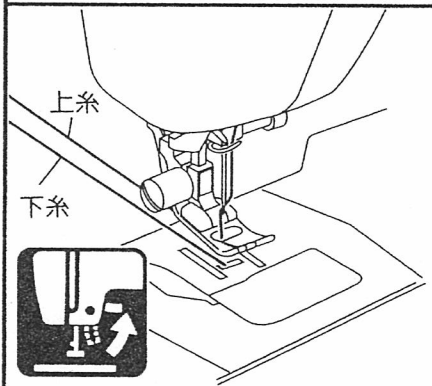
ギャザーやダーツなど、あらかじめ下糸を余分に引き出しておきたいときは、手動で下糸を引き出します。



1 上糸をかるく持ち、プーリーを手前にゆっくり1回転させ、針を上げます。



2 上糸を引き上げて下糸を引っ張り出します。

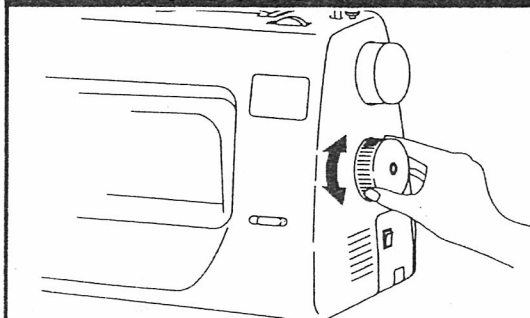


3 上糸・下糸を15cmほど出しておきます。

- ※始めのセット状態では、上糸のみ引き出せばぬい始めることができます。

ぬってみましょう

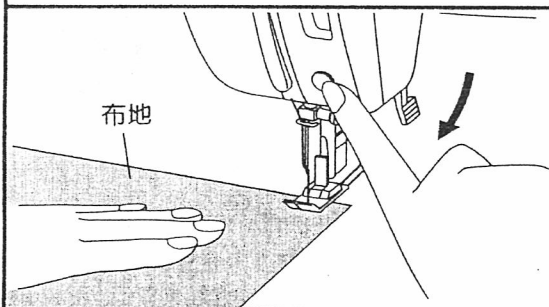
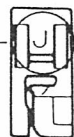
■基本操作



- 1 模様選択ダイヤルで模様を指定します。
- 2 指定した模様に合わせて、押えを付け替えます。
(押えの付け替え方 参照)

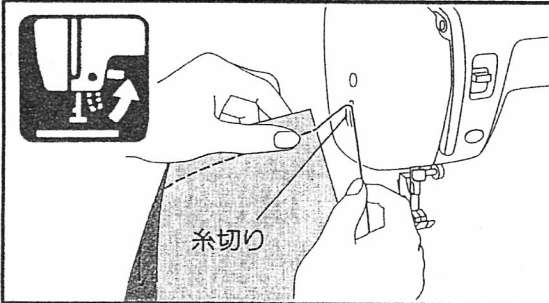


押え記号



- 3 布地を入れ、押えを下げます。

- 4 スタートします。
 - スタート/ストップスイッチを押し続けると、その間低速でぬいます。
 - 手はかるく布地に添えます。

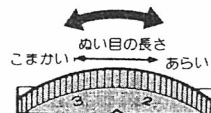


- 5 再びスタート/ストップスイッチを押してストップします。

- 6 押えを上げ、糸を切ります。

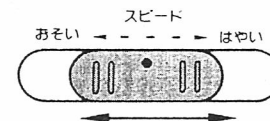
■ぬい目の長さ調節

選んだ模様によっては、ぬい目の長さは調節できません。



■スピード調節

ぬっている途中でも調節できます。

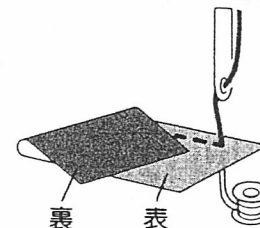


■ジグザグの振り幅は自動的に設定されますので調節することはできません。

■糸調子

■正しい糸調子

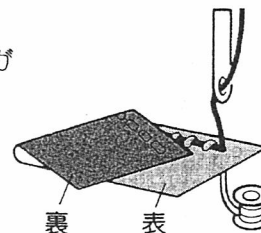
上糸と下糸の交差が布地と布地の間にできます。



糸調子ダイヤルは「標準」の位置が目安となりますが、正しい糸調子を得るために、実際にお使いになる生地の手切れで試し縫いをして、糸調子を調節して下さい。

■上糸が強い場合

上糸と下糸の重なりが上(表)にできます。



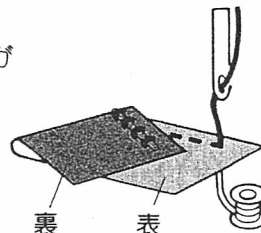
上糸調子ダイヤル弱くする



※数字を小さくします。

■上糸が弱い場合

上糸と下糸の重なりが下(裏)にできます。

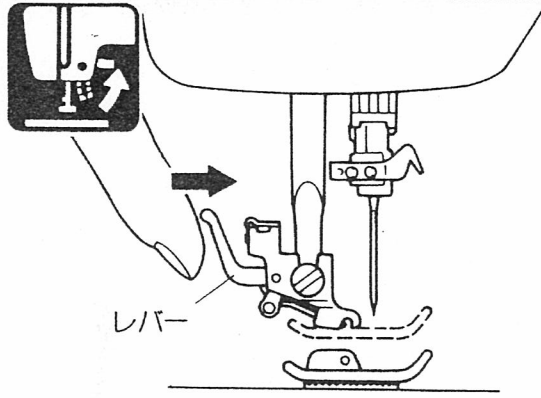


上糸調子ダイヤル強くする



※数字を大きくします。

■押えの付け替え方

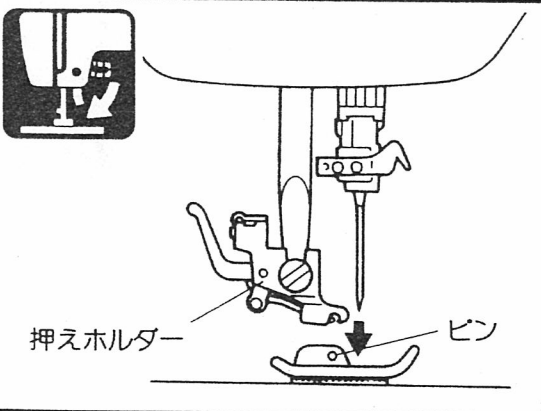


△注意：押えの交換をする時は、必ず電源スイッチを切ってください。



■取はずし方

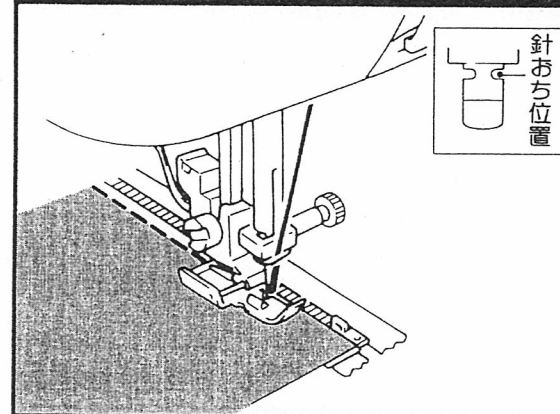
押えを上げ、押えホルダーのレバーを押します。



■取り付け方

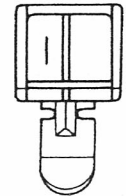
押えホルダーの真下に押えのピンがくるように置き、押えを下げます。

■片押えの使い方

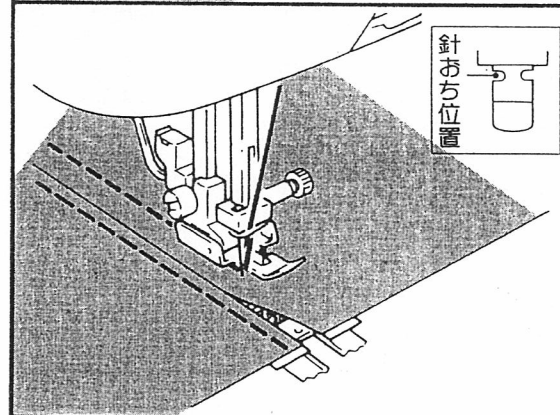


●模様番号<2>にセットします。

2 J 0

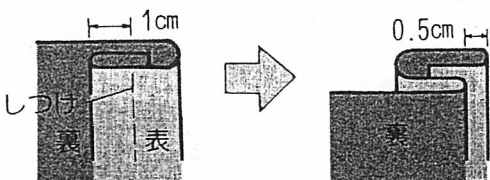


1 押えホルダーを片押えの右側に付け、打ち合わせの下になる方を先にぬいます。

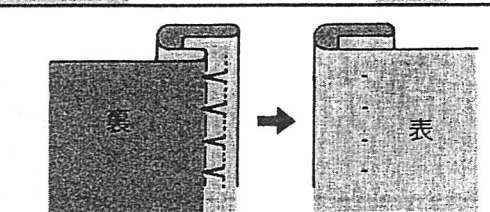
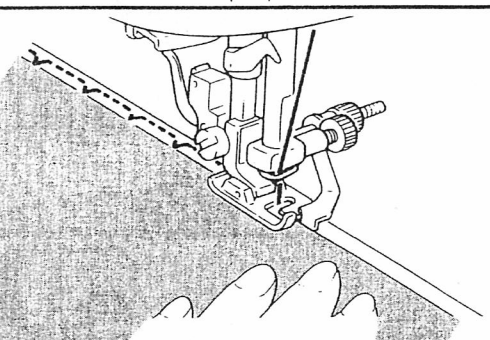
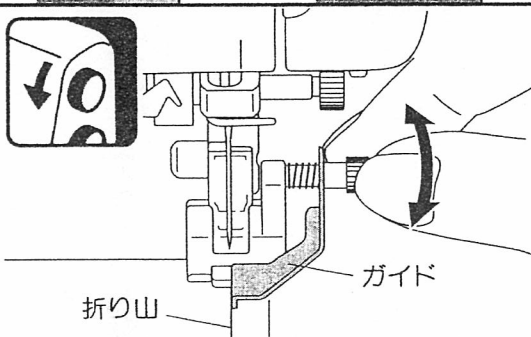
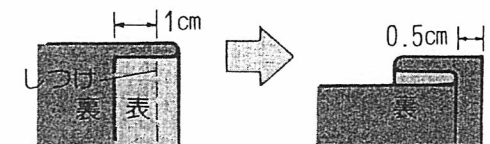


2 押えホルダーを片押えの左側に付け変え、打ち合わせの上になる方を先にぬいます。

■まつりぬい押えの使い方

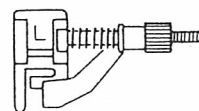


■厚い布地の場合



●〈L〉押えに付け替え、模様番号〈6〉を指定します。

6
L
V
V



1 布地を折ります。

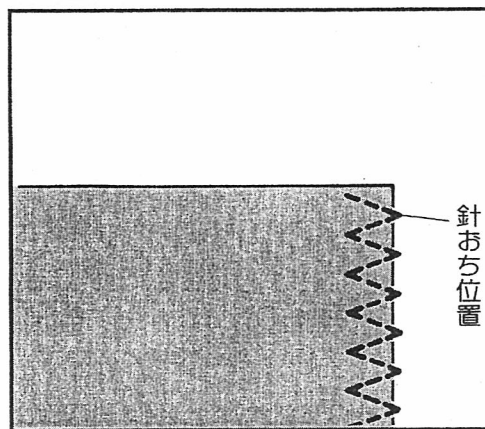
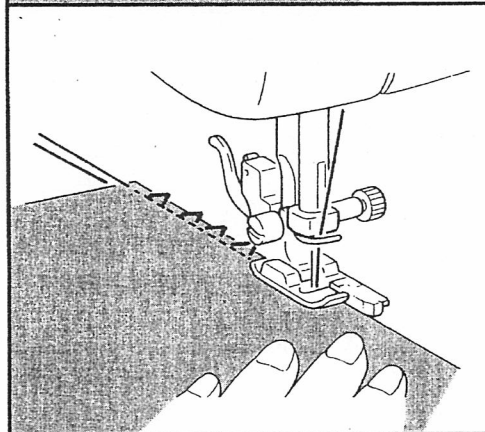
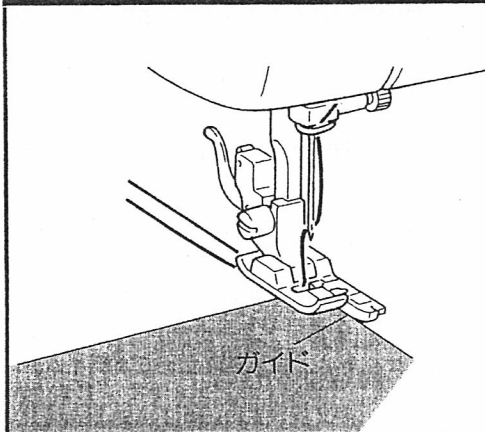
2 左の針おちがわずかに折り山にかかるように、布地をセットします。

3 折り山にガイドを合わせます。

4 ぬい始めたら、折り山がガイドに合うように手を添えます。

5 表に戻します。

■裁ち目かがり押えの使い方



●〈G〉押えに付け替え、模様番号〈8〉を指定します。

8
G
V
V



1 押えのガイドに布端が合うように布地をセットします。

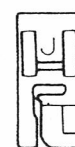
2 ぬい始めたら、布端がガイドに合うように手を添えます。

●裁ち目かがりのぬい上がりは、素材により上糸と下糸の重なりがわずかに下(裏)に出る場合があります。

※模様番号〈3〉のときは、裁ち目かがり押えを使わないでください。

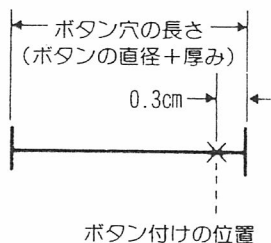
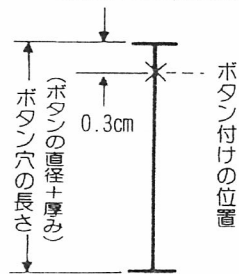
■のびる布地の場合は必ず〈J〉押えに付け替えてください。

J
V
V



布地は、針が布端より少し外側におちるようにセットします。

■ボタン穴かがり押えの使い方 ●必ず試しぬいをしてください。



■たてのボタン穴かがり

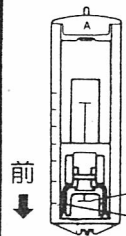
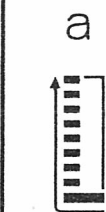
シャツなどの細い前立てや小さなボタンをたくさん並べてつける場合によく使われます。ボタン付けの位置より0.3cm上側からしるしを付けてください。

■横のボタン穴かがり

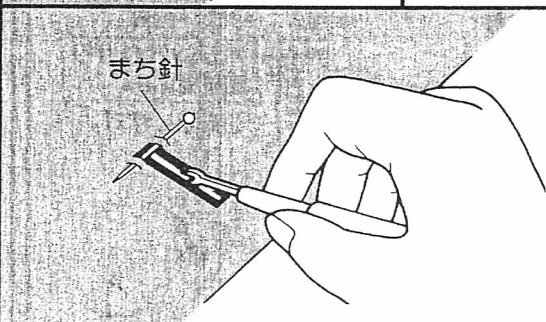
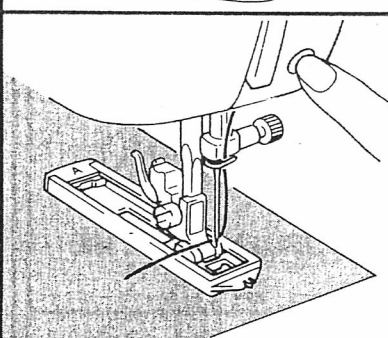
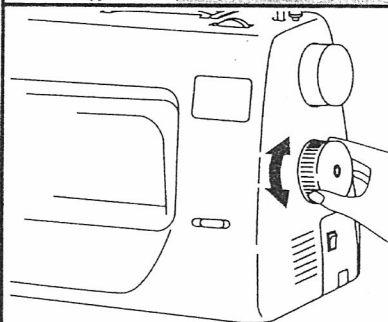
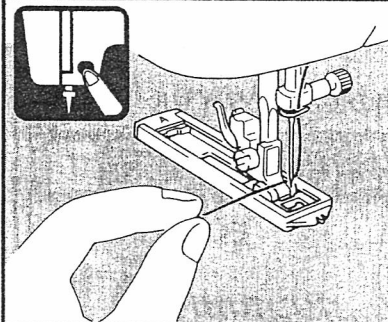
丈夫なので、ほとんどの服に使われます。ボタン付けの位置より0.3cm外側からしるしを付けてください。

- 1** ボタン穴かがりはa→bの順に行いますので、模様選択ダイヤルでaを指定します。
※ぬい目の長さ調節ダイヤルを〈F〉にあわせてぬいますが、布地によってはぬい目調節の必要な場合があります。
P13「ボタン穴かがりのぬい目調節」参照

- 2** ボタン穴かがり押えをセットし、布地を入れ、押えを押しながら布地のしるしに押えのしるしを合わせて、押えを下げます。



布地のしるし
押えのしるし



- 3** 上糸を持ってスタートします。

- 4** 布地のしるしに合わせて止めます。

- 5** 模様選択ダイヤルでbを指定します。
※機構上、aからbに切り換えても、2針分aのぬい目が入ります。

- 6** スタートします。

- 7** ぬい始めの位置までぬったら、外側で止めます。

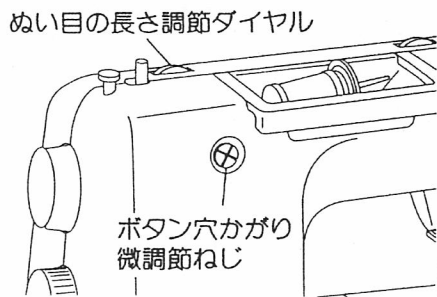
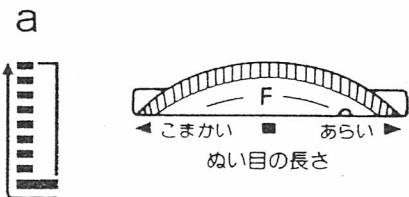
- 8** 糸端を裏で結び、リッパーで切り開きます。

■ボタン穴かがり押えの使い方

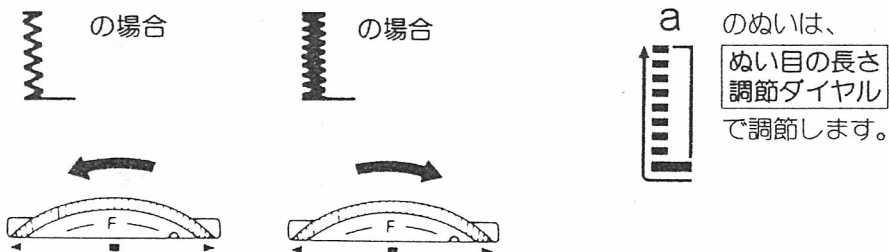
●必ず試しぬいをしてください。

ボタン穴かがりのぬい目調節

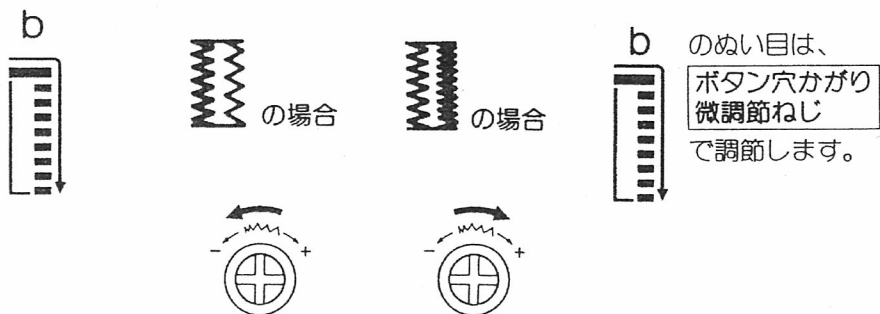
- 1 ぬい目の長さ調節ダイヤルをFに合わせ、模様aをぬいます。



- 2 ぬい目の長さ調節ダイヤルを回し調節します。



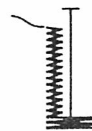
- 3 模様bをぬいます。 4 aのぬい目と比べ、ボタン穴かがり微調整ねじを回して調節します。



ボタン穴かがりを失敗したとき

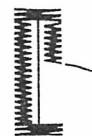
失敗した場所により操作がちがいますのでご注意ください。

aをぬっているとき



1. 押えを上げて糸をほどきます。
2. 模様選択ダイヤルでbを指定します。
3. 10針ほど空運転させます。
4. 模様選択ダイヤルでaを指定し、始めからぬい直します。

bをぬっているとき

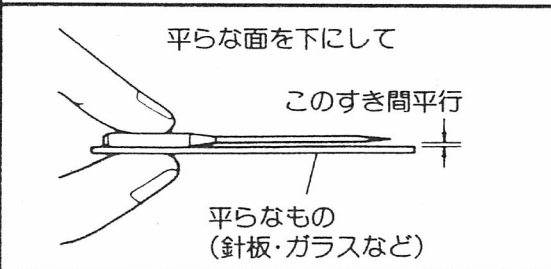
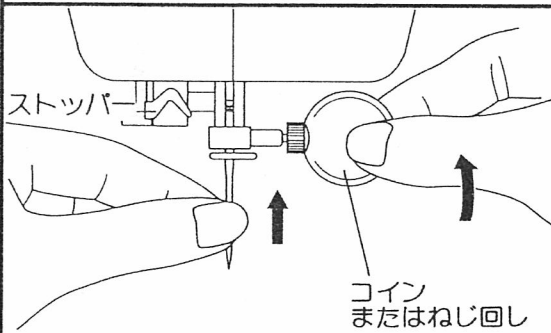
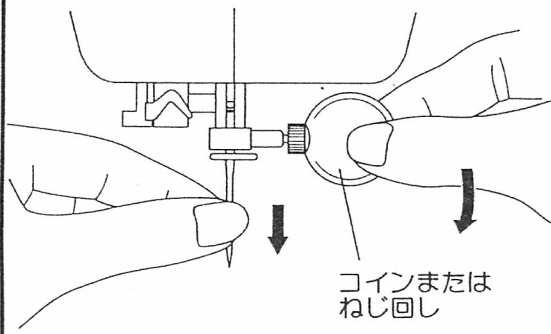


1. 押えを上げて糸をほどきます。
2. 模様選択ダイヤルでaを指定し、始めからぬい直します。

D

ミシンを大切に

針の交換



△注意：針の交換をする時は、必ず電源スイッチを切ってください。

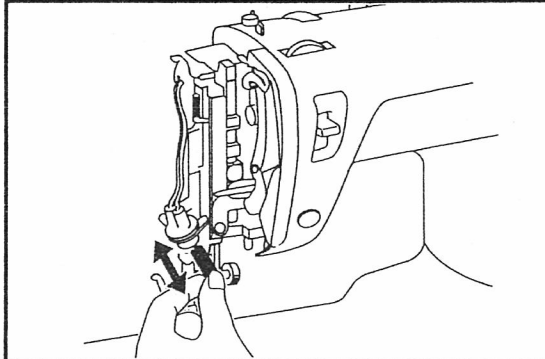
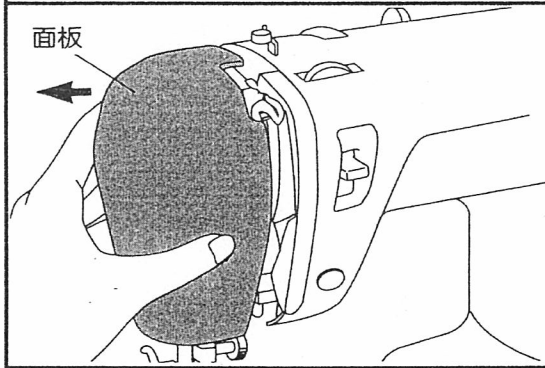
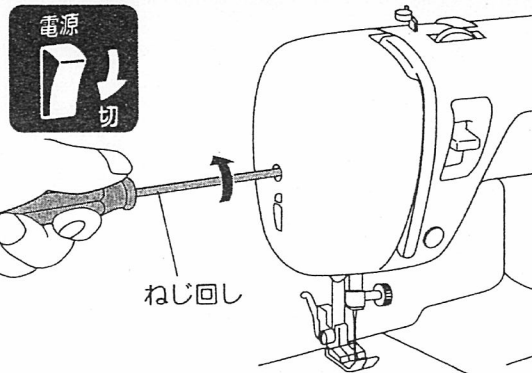
- 1 針を上げ、押えを下げます。
- 2 ねじをゆるめて針を抜きます。

- 3 針の平らな面をうしろにしてストッパーに当たるまで差し込みねじを締めます。

正しい針の調べ方

ランプの交換

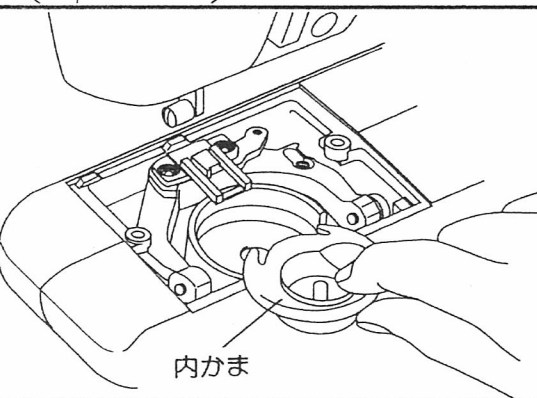
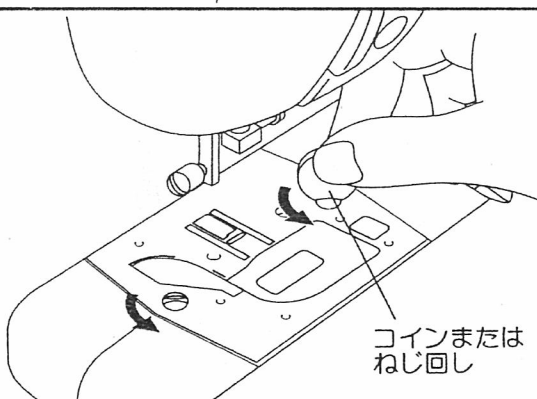
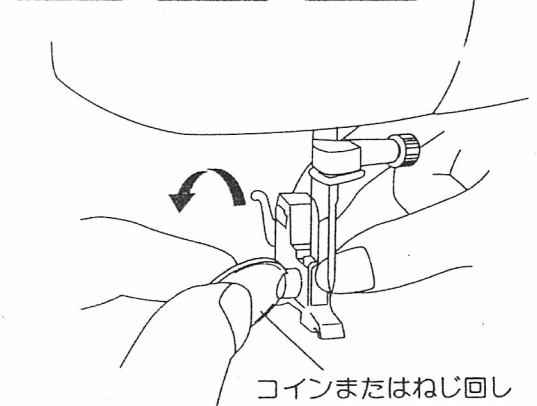
※ランプ(8V、2.4W)は最寄りのブラザー販売店でお買い求めください。(部品コード X50228-001)



△注意：ランプの交換をする時は、必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。

- 1 ねじをはずします。
- 2 面板を取りはずします。
- 3 ランプソケットを引き抜き、新しいランプを取り付けます。
- 4 面板を取り付け、ねじを締めます。

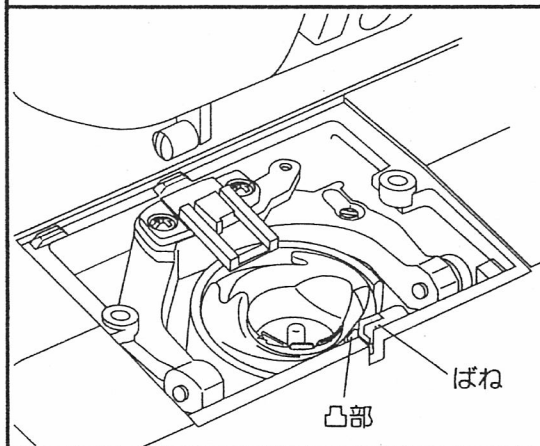
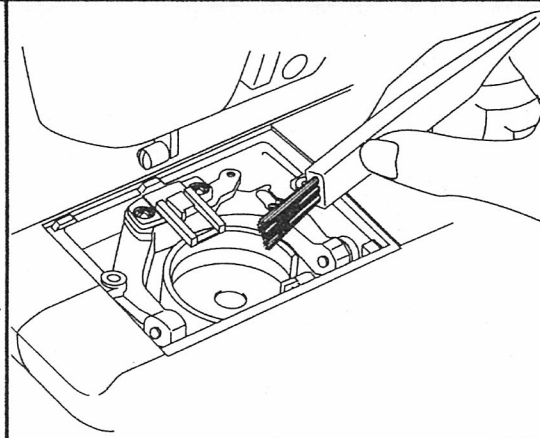
■お手入れ



△注意：かまの掃除をする時は、必ず電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜いてください。

- 1 押えと針を上げます。
- 2 押えホルダーと針をはずします。
- 3 針板をはずします。

- 4 内かまを取り出します。



- 5 ほこりや糸くずを取り除きます。
 - 内かまは、やわらかい布でふきます。
 - 取りにくい糸くずは、ピンセットや掃除機で取り除きます。
 ※内かまには油をささないでください。

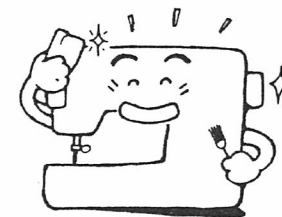
- 6 内かま・針板の順に取り付けます。
 - 内かまの凸部とばねとを合わせてセットしてください。

■いつもきれいに

かるいよごれは、やわらかい乾いた布でふいてください。ひどいよごれは中性洗剤を溶かした湯または水に浸した布でふき、次に湯または水に浸した布で洗剤をふきとってください。

■ミシンの大敵

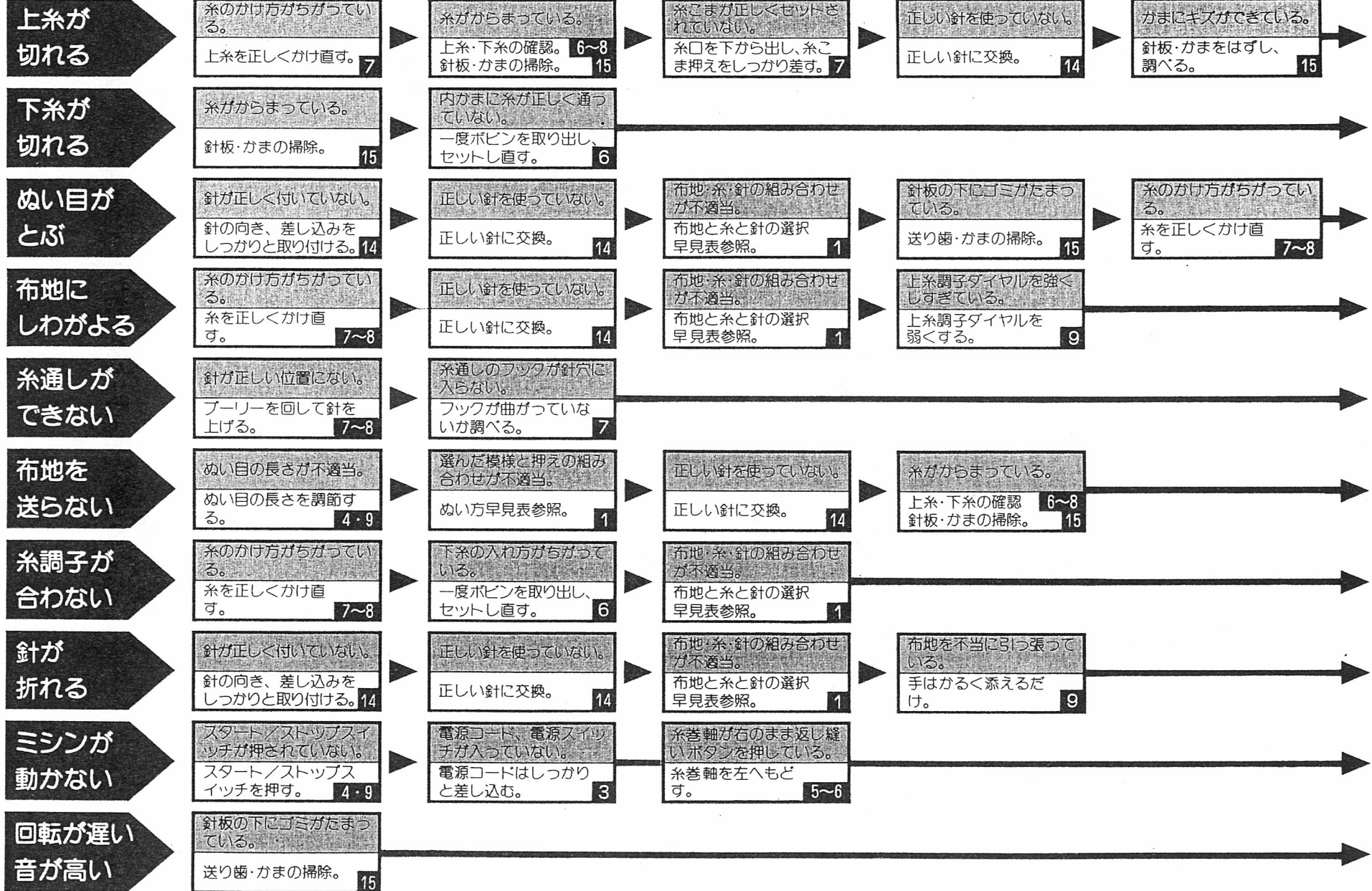
△注意：ストーブやアイロンらを近づけないでください。ベンジン・シンナーなどは絶対に使わないでください。保管するときは、直射日光をさけてください。



■トラブルチェック

ミシンの調子が悪い場合は、まず次の原因を確かめましょう。

※右下の数字はページ数です。



●もし、それでも直らない場合は、お買い上げの販売店または最寄りのブラザー販売店にお申し付けください。

■アフターサービス

- お買い上げの際、販売店でお渡しする保証書は大切に保存してください。
- 無料修理保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
(詳しくは保証書をご覧ください。)
それ以後の修理については、お買い上げの販売店、または最寄りのブラザー販売店にご相談ください。
- 当社はこのミシンの補修用性能部品を、製造打ち切り後最低8年保有しています。
・性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
- アフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または下記の《お客様相談コーナー》へお問い合わせください。

お客様相談コーナー

ブラザー販売株式会社

北海道事業所	〒060 札幌市中央区南三條西3-2-2	TEL:(011)251-0826
東北事業所	〒980 仙台市青葉区一番町2-3-10	TEL:(022)227-8875
東京事業所	〒104 東京都中央区京橋3-3-8	TEL:(03)3273-0231
中部事業所	〒467 名古屋市瑞穂区塩入町11-5	TEL:(052)824-3191
関西事業所	〒542 大阪市中央区南船場3-12-22	TEL:(06) 252-5879
中国事業所	〒730 広島市中区胡町4-28	TEL:(082)240-3761
四国事業所	〒760 高松市寿町1-1-5	TEL:(0878)51-7341
九州事業所	〒812 福岡市博多区博多駅前2-20-1	TEL:(092)431-3775
沖縄事業所	〒900 那覇市泊3-1-2	TEL:(098)868-4511
本社		
お客様相談室	〒467 名古屋市瑞穂区苗代町15-1	TEL:(052)824-3125

◎ブラザー製品についてのご意見、ご要望がございましたら、お買い上げの販売店または上記の《お客様相談コーナー》へご連絡ください。

※上記の電話番号および住所は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

ブラザー工業株式会社

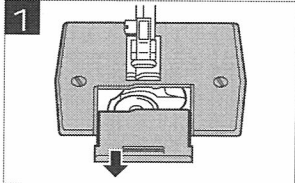
名古屋市瑞穂区苗代町15-1 〒467

取扱店

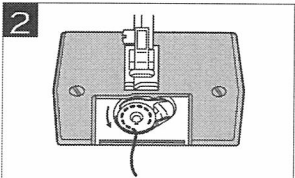
■ 下系のセット

▲ 注意

- ❗ 必ず、電源スイッチを切ってから行ってください。万一、スタート/ストップスイッチが押されるとミシンが作動してケガの原因となります。



- 1 すべり板を手前（▼方向）にスライドさせ、取り外してください。



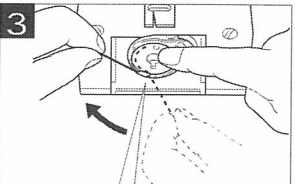
- 2 矢印の方向から糸が出るように下糸を巻いたボビンをセットします。

▲ 注意

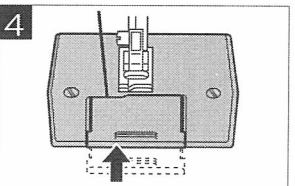
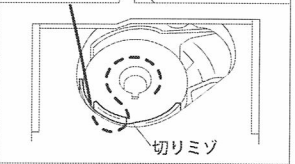
- ❗ ボビンは必ず正しい方向から糸が出るようにセットしてください。ボビンを逆の方向にセットすると針折れや糸調子不良の原因となります。

▲ 注意

- ❗ 下糸は正しく巻かれたものをご使用ください。下糸の巻き方が悪いと針折れや糸調子不良の原因となります。



- 3 ボビンを指先でかく押さえて、糸端を切りミゾに引っかけ、左から上へ持って行ってください。

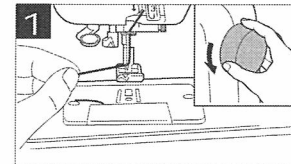


- 4 すべり板を奥（▲方向）にスライドさせ、取り付けてください。

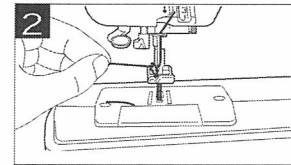
■ 下糸の引き出し方

▲ 注意

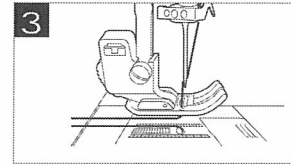
- ❗ 必ず、電源スイッチを切ってから行ってください。万一、スタート/ストップスイッチが押されるとミシンが作動してケガの原因となります。



- 1 上糸を軽く持ち、プーリーを手前にゆっくりと1回転させ、針を上げてください。



- 2 上糸を引き上げて、下糸を引っ張り出してください。



- 3 上糸・下糸を押えの下にして後ろへ出しておきます。